

読みづらい広報たなべについて

■内容

「広報たなべ」1月号が届きました。私は25年11月号を夜間に読んで感じた広報誌の読みづらさについて、11月上旬に担当課を訪問してそのことの申し出をし、又、紀伊民報の読者の声欄に11月16日付けの投書をしています。

ついては、あらためてその内容を下記のとおり申し出します。

「みんなの広場」の記事は、「すくすく子育てクラブ」と「我が家の愛ドル」等がありますが、その背景にグレー色の黒っぽい色を全面に印刷しています。そのため、文字は黒色であるために光の反射の角度により非常に見づらいのです。常識では、カラーでない新聞や書籍は白地の紙面に黒文字で印刷されるのです。黒っぽい背景に黒文字を使って見やすい紙面になるはずがないでしょう。その上この背景色は6月号迄には無く7月号から付けられているのです。

どうしてなのか。市のホームページにある広報誌を見れば、多くの記事や見出しの背景にブルー色やイエロー色等の色付けがされ、又、写真の背景が使われています。パソコンの画面ではカラーでありそれが良い組み合わせとなっているのですが、白黒での印刷となれば話は違ってきます。背景色や写真はすべてグレー色になり文字の黒にあわさって不鮮明になるのです。そのために見づらいのです。印刷の段階ではこの背景に使われている色は削除するべきものでしょう。強調の意味であれば白地に文字の拡大や枠囲いか、白抜き文字等の方法を取るべきです。等と担当課に話をし投書していたのです。

しかしながら、この26年1月号において、新年挨拶の背景写真の上の文字には的確に対応していますが、「みんなの広場」の記事や、表紙裏面の目次欄（細目の文字が非常に細字で読みづらい）等の背景にグレーの色が変わらず付けられているのです。そこで下記に質問します。

質問①

黒っぽい背景に黒文字を使って見やすいと考えているのか？

特に、一般社会で広く読まれている新聞の紙面作りを、当市の広報誌（記事部分を白黒で印刷している）は参考にする必要はないと判断するのであれば、その根拠を回答願います。

質問②

ホームページ上のカラーによる広報誌と、市民に配布される広報誌のどちらを正式なものとしているのか？ 回答願います。

私は、HP上のものは、きれいで見やすくてなかなか良い紙面作りになっていると思っています。しかし、その背景色をそのままにして印刷し、結果としてグレー色を白黒紙面に付ける事が、配慮を欠いた市の判断でしょうと言いたいのです。県民の友を見れば、カラフルな出来栄です。しかしこれをもとに白黒で印刷すれば、読めたものではありません。又、若者が広報誌を読んでいないとのことで、その人々に向けた編集に力を入れる意図は結構です。しかし、それは若者むけの企画・記事内容で取り組むべきであり、地元紙のように若者や子育て世代のインタビューでも良いのです。又、HP上の広報誌を広く若い世代に広報して閲覧を推進すべきでしょう。

HPのカラー分と白黒での紙印刷物は別物なのです。白黒紙ではそれなりの対応が必要であり、それをはっきり区別するべきです。現状では、HP上の広報誌が正式な広報誌であるかのような紙面作りをしているといわざるを得ません。このままでは、HP等に接しない年配者が読みづらい紙面を苦勞して読まなければならないことは大きな問題です。県や国にも判断を求めなければと考えます。

質問③

年度途中で広報誌の印刷の紙を変更しています。そのため読みづらさが増したのです。変更理由（紙質の変更について市民からの要望があったのか、誰がどのような理由で変更したのか）と年間予算より減少しているその減少額。及び、その額はどのようにしているものか回答を願います。又、予算は市議会で可決されたものでしょう。その可決の根拠になった紙質を市が議会に凶らず変更してよいのでしょうか質問します。（一般的に予算の決定には、その事柄の持つ品質・レベル等が包含されており執行時に市部局が品質を変えて減額することはないものと思いますが。）

以上三点について申し出しますので、正式な市の考え方等を回答頂くようお願いいたします。尚、広報誌については広く市民に関係する事柄であるため、この内容は必ず市政未来ポストに掲載を願います。

■回答

御投稿いただきました件につきまして、下記のとおり回答いたします。

まず第1点目でございます。広報田辺は、平成25年7月号から全面刷新を図っています。その中の「みんなの広場」では、同一ページで2つのコーナーを設置していますので、一目で別コーナーと区別いただき、まとまりのある記事として御覧になれますように、コーナー毎の背景にデザイン処理のひとつであります網掛けを使用し、その上に黒色100%の濃さの文字を載せて対比を付けておりました。

そうした中、11月に背景と文字が同じような色のため読みにくいという御意見をいただきましたので、前段の考え方を踏まえながら、12月号から「みんなの広場」の各コーナーと情報ボックスの各題名の背景（網掛け）の濃さをなるべく薄くするとともに、その上に載せた文字を太くし、背景と文字の対比を強くいたしました。

文字は、その大きさやフォント、デザイン処理によって見え方が大きく違ってくる上に、同じ紙面を御覧いただいても、年齢や状況によって、お一人おひとりの見え方に違いがございます。今後とも、こうしたことを念頭に置きながら、より多くの方々が親しみやすく、読みやすい広報紙づくりに努めてまいりますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

次に2点目ですが、情報社会の進展に伴うインターネットや携帯電話の急速な普及は、これまでの紙媒体主体の情報伝達手段の在り方に大きな変化を与え、自治体にはこれらを活用した対応が求められているものと認識しております。

こうしたことから、市におきましても、ホームページ上の広報紙は、配布用の広報紙とともに市の代表的な情報伝達手段と考えており、全世帯にお配りし、全ての市民の皆様が御覧になれる広報紙と、インターネット環境の有る方に限られますが、いつでもどこでも御覧になりたいときに御覧になれるホームページ上の広報紙は、それぞれの利点を活かした市の正式な広報紙であります。

こうした中で、広報田辺の編集につきましては、配布用とホームページ用の原稿をそれぞれ別々に作成しており、配布用の広報紙を編集する際には、カラーのデータをそのまま白黒のデータに置き換えますと、色調が濃すぎて読みにくくなるため、どのような見え方になるか、読みづらくなるか等に気を付けながら、明暗や色彩の対比の調整をしています。

最後に3点目の紙質に関する御質問についてですが、広報田辺の紙質は、1点目の御質問に対する回答でも述べました平成25年7月号の全面刷新時に、マットコート紙から上質紙に変更しています。その理由といたしましては、従前の紙質は光を反射して読みづらい、広報紙のイメージが堅苦しくなりがち等といったことから、触り心地が柔らかく、温かみを感じられる上質紙を採用し、親しみがわき、手にとっただけの紙面づくりを目指したものです。

また、広報紙作成の予算につきましては、印刷業者からの見積もりや過去の実績等により、算定しておりますが、こうした中で、今回の紙質変更に伴う金額の変動は、ほぼないものと認識しています。

なお、広報紙作成にかかる費用は、広聴広報費の需用費の印刷費として計上されており、本年度においても、市議会で御審議いただきましたが、紙質について質疑や御意見はございませんでした。

以上、回答申し上げます。

【企画広報課】